

機巢

同窓会報メールマガジン

Vol. 20 冬号

岐阜工業高等専門学校 機械工学科 機巢会

岐阜高専機械工学科 機関誌 『機巢』 2021年 Vol. 20

目次

P-2	目次 & 会長挨拶		
P-3	2021 年度機巢会定期総会ご案内	会長	中野 廣幸 (4期生)
P-4	機巢会役員会報告	副会長	犬飼 宏好 (8期生)
P-5	橋浦正史名誉教授へ勲記勲章額を贈呈	副会長	飯沼 義徳 (7期生)
P-6	機械工学科の現状について	山田 実	(24期生)
P-7	HP の活用方法「OBコミュニティー」	太田 哲也	(6期生)
P-8, 9	海外特派員報告	伊藤 友裕	(33期生)
P-10	編集後記		

会長挨拶

中野 廣幸

寒さの中にも春の足音が聞こえてきます。機巢会会員のみなさまにおかれましては、新型コロナ禍の中、注意深く毎日を過ごされていることと存じます。まだまだ油断はできませんが、緊急事態宣言が功を奏したのか、流行の第3波と言われる新型コロナウイルス感染もやや収まる兆候が見えてきました。既に各国で始まっているワクチンの接種が日本でも始まり、新型コロナウイルス感染終息へ向けての希望がみえてきたのではないかと思います。

新型コロナ終息に向けての医療従事者のみなさまへの感謝と同時に、バイオテクノロジーをはじめとした医療技術および関連する技術の進歩を感じます。1918年8月下旬から3年にわたり日本で猛威を振り、2400万人が罹患し、約39万人が亡くなったスペイン風邪と比べてみると、技術の進歩がパンデミックと戦うための大きな武器となっています。まず直径100nmの新型コロナウイルスの形が、電子顕微鏡でそのスパイクの形状まで見え、それにより感染から発病までのメカニズムが明確になりました。また、ワクチンも短期間で大量に作る事ができたということは、水面下でどんどん進んでいたバイオテクノロジーの進歩によるものであり、日本やアメリカで接種が始まったワクチンは、「メッセンジャーRNA」(mRNA)、と呼ばれる遺伝子そのものを大量合成して作る新しい技術を使ったものです。

また、昨年と違い、社会的にも、対策の急所が明確になり、新しい生活様式を実践すれば、感染拡大のペースを遅らせることができることが分かってきました。

”地道に開発してきた努力が脚光をあびる”・・・技術とはそんなものではないかと思います。愚直という言葉の重要性を感じ、機巢会会員のみなさまも日々地道な努力を積み重ねておられると推察いたします。



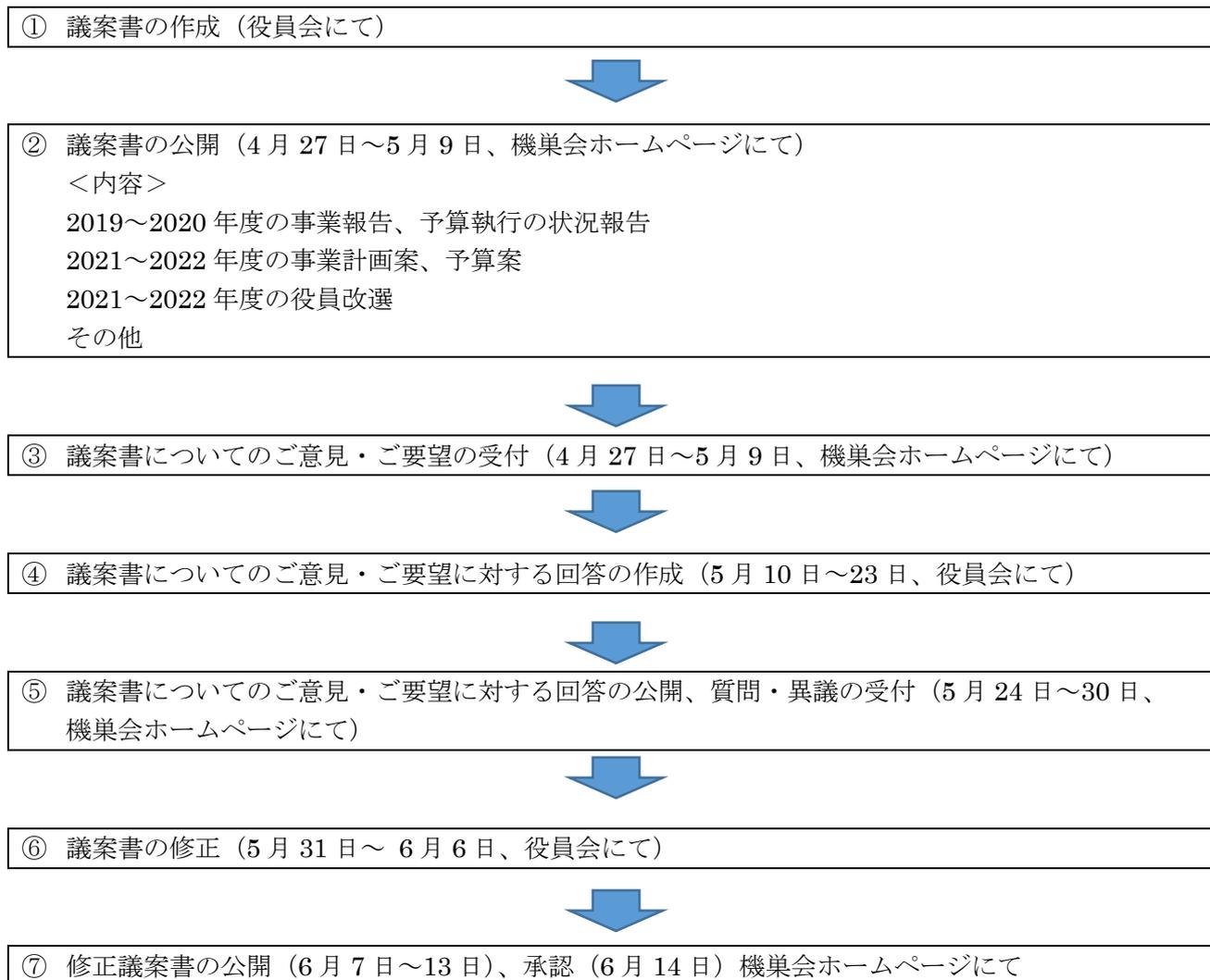
”2021 年度機巢会定期総会”ご案内

機巢会会長
中野廣幸

まだまだ新型コロナウイルスの完全終息には時間がかかると思われま。従いまして、例年 5 月に行っておりました機巢会総会を、リニューアルされたホームページを利用した web 総会にすることにいたします。2019～2020 年度の事業報告、予算執行の状況報告、2021～2022 年度の事業計画案、予算案および 2021～2022 年度の役員改選の審議をしていただきます。役員会において議案書を作成し、4 月 27 日にホームページにて公開して、会員の皆様のご意見・ご質問をいただきます。（ご意見・ご質問の記入にはセキュリティを強化するためにパスワードが必要となりますが、別途ご連絡いたします。）その後、皆様からいただいたご意見・ご質問に対し回答を作成、改めてホームページにてその内容を公開します（5 月 24 日～）。

必要であれば議案書の修正を行い、最終的に承認という手順で 2021 年度機巢会定期総会を運営してまいりますのでよろしくお願いいたします。

以下が Web 定期総会のフローです



機巢会役員会報告

機巢会 副会長 犬飼宏好

1月15日から30日にかけて機巢会役員会（臨時役員会）を開催しましたので報告します。今回は新型コロナウイルス感染防止の観点からメールによる会議としました。以下に主な議事内容を報告します。

議題1：ホームページリニューアル

本件は2020年度の活動計画に含まれてなかった為、役員会にその目的やリニューアル内容、費用等を提案し、承認されました。

<主な機能>

- ・メールベースのWeb 会議が可能となり、評決ができるようになりました。
- ・クラスごとの情報交換の場として、「OB コミュニティー」を作りました。
- ・Facebook ページを新設しました。

<リリース時期>

役員会の承認を受け2月にリリースしましたので、機巢会ホームページを覗いてみてください。

<費用>

現時点では正確な費用は分かりませんが、10万円以内に収まります。最終金額は5月に開催予定の機巢会定期総会で報告となります。

議題2：2021年度機巢会総会

現在、新型コロナウイルスの感染は終息に向かっていますが、まだまだ集合形式の総会を開催出来る状況ではありません。従って、リニューアルしたホームページを利用してメールベースの総会を開催すると決定しました。詳細なスケジュールは「2021年度機巢会定期総会ご案内(P-3)」に掲載しています。なお、昨年度の総会が準備不足の為に不成立となりましたので、2年分の結果報告となります。

<主な内容>

1. 議題

- 1) 2019～2020年事業活動報告および予算執行状況報告
- 2) 2021～2022年度事業計画および予算
- 3) 2021～2022年度役員体制

2. 報告事項

- 1) 機巢会40周年記念行事
- 2) 橋浦先生叙勲のお祝い
- 3) ホームページリニューアル など

議題3：機巢会40周年記念行事

5月の総会と時期をずらし、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら秋頃に行うとしました。その中で橋浦先生の叙勲祝賀会を開催します。 以上

橋浦正史名誉教授へ勲記勲章額の贈呈

機楽会副会長 飯沼義徳

瑞宝小綬章の叙勲受章を祝して機楽会から勲記勲章額を贈呈しました。コロナ禍でもあり、少人数でということで、中野会長とともに昨年末の12月25日（金）に専門業者様とともに橋浦先生のご自宅へ伺い、勲記、勲章の額入れ、長押しへの取り付けをさせていただきました。

当日は、ご自宅へ向かう道中、大きな虹が北の空にかかり、先生の叙勲を祝っている様でした。ご自宅では先生と奥様（茶道、生け花のご師匠）のお話をお聞きしながら貴重なひと時を過ごさせていただきました。

勲記、勲章を拝見させていただくのは初めての経験ですが、勲記には、4キログラムの金印による三寸四方「大日本国璽」の押印、菊の御紋の透かしがあり、勲章は格調高い浅葱色（あさぎいろ）でとても厳かな心持になりました。

先生のお話では、今年はコロナの影響で叙勲伝達式が遅れ、12月23日に東京ではなく母校の岐阜高専で執り行われました。

国家の栄典は洋の東西今昔を問わず人々の範たる方を顕彰するもので、機楽会としても誠に誇らしいことです。

改めて衷心よりお慶び申し上げますとともに、先生の今後のご健勝と益々のご活躍を祈念いたします。



機械工学科の現状について

機械工学科 山田実

【1号館事務棟、国際寮整備】

図書館センターの改修工事が終わり、次は1号館西側の事務棟および玄関ホールの改修と主に留学生が入る国際寮の新営工事がはじまりました。玄関ホールには、ビジターフrendリーということで大きな校内地図があり、教員の居室がどこか分かるようになっています。また、国際寮は、協定する海外の大学から岐阜高専にみえる短期留学生も受け入れることができます。

【新型コロナウイルス感染症予防対策】

岐阜高専では感染症予防と学生の学修機会確保の両立の観点から、後期の授業は、実習・実験以外の座学はクラスの半分の学生のみ登校、残り半分の学生は授業の様子を遠隔配信して自宅で受講というハイブリッド授業を実施しています。ただし、1月からは緊急事態宣言が岐阜県に発令されたこともあり、すべての授業が遠隔授業になりました。もちろんクラブ活動も中止です。学生が登校できたのは期末試験期間と答案の返却時のみです。卒業研究も1月から遠隔指導することになり、登校は卒業研究発表会のみと決められました。そのため、卒業研究の実験や卒業論文の対面指導などができず、学生には苦勞をかけることになりました。



1号館の玄関ホール。かつては下駄箱がありスリッパ（高専スリッパ）に履き替えていました。現在はとてもきれいになっています。



事務棟と環境都市工学科棟の間にある中庭です。きれいに整備されるようです。



国際寮の工事の様子です。テニスコートの南側半分を潰して建てています。北側半分はコートの整備中です。



機械工学科5年生の教室に設置された遠隔授業用の設備です。遠隔配信用のビデオカメラ、ノートパソコンなどが置いてあります。

ホームページの活用方法「OBコミュニティ」

機巢会 | 岐阜高専機械工学科同窓会 (gifu-nct.com) アドレス <https://gifu-nct.com/>

クラス単位のコミュニケーションができるようになりました！

- ① 上記のアドレスから機巢会 HP を立ち上げてください。



- ② 「OB コミュニティー」にクラス別コミュニティが1期生から50期生まであります。ご自分のクラスに入ってください。(例えば6期生は「6期生」をクリック)
 参考：学籍番号が和暦の場合、学籍番号から37を引いた数字が自分の期です。
 「50MOO」なら $50 - 37 = 13$ 期生
 学籍番号が西暦の場合、学籍番号から1962を引いた数字が自分の期です。
 「2010MOO」なら $2010 - 1962 = 48$ 期生

ログインにはIDとパスワードが必要です。パスワードは仮パスワードを用意しています。お知らせしますの下記まで連絡してください。

・編集委員：6期生 太田哲也 LINEのQRコード

・メールアドレス：daikokur1@gmail.com

連絡の際には必ず〇〇期（あるいは入学年度、卒業年度）と氏名を記入してください。



クラス代表（クラス幹事）の方にパスワードを決めていただいてから、正式なパスワードに変更してお知らせします。詳細な手順については編集委員太田まで問い合わせください。

セキュリティ対策のため導入の操作が少し面倒ですが、慣れてくれば便利になると思います。一度登録してもらおうと、誰かが投稿すれば登録者全員にメールが届き、メールアドレスを個々に入力して連絡することはなくなりました。

オンラインでZOOM同窓会なども企画して交流をしましょう！

海外特派員報告

元編集委員の伊藤さんがイギリスからレポートです！

前回に引き続き、コロナ禍にあってイギリス赴任中の元編集委員の伊藤です。今回は、たまに聞かれる「海外の人とうまく仕事する方法」についてです。これから海外の人と繋がる方には参考になれば幸いですし、一方で、既に海外の人と接点ある方には、どう思われるか聞いてみたいところです。



伊藤 友裕(33期生)

では早速、私が常日頃から気にしているのは以下の二点です。

- ① こちらの価値観で相手に期待しない。
- ② 要求は最初にはっきり言う。

会社で後輩などからたまに相談を受けるのですが、コミュニケーション上のアドバイスはこの二点に集約されます。ありきたりですがなかなか実行できていない場合も多く、さらには日本人どうしのやり取りにおいても大切だと個人的には思っています。

- ① こちらの価値観で相手に期待しない。

この字面があまりポジティブでないですが、ネガティブな意図は一切なく、「多様性の尊重」とも換言できます。

海外といえば異文化であり、書籍やインターネットでは、各国の文化の比較や、異文化を相手に仕事する場合のアドバイスなどを多く見つけることができます。古くから言われている例では「曖昧な日本人」とか「時間にルーズな〇〇人」とか。面白く書いてある記事も多いですし、様々な文化を認識するという意味では読んだ方が良いと思います。

しかし実際に異文化に接し始めると、個人の行動様式は国や文化というよりむしろその個人によりけりな場合がほとんどでした。日本人が全員空気読むのが上手で曖昧な返事が得意とかそんな訳ないですし、スペイン人が全員シエスタ（長時間の昼休憩）するわけでもありません。ましてや、日本人どうしのやり取りにおいても、企業風土や校風という言葉があるように組織によっては行動様式も様々。そういう中で仕事してきた結果気づいたのが、結局は人々は各自の価値観で動いていて、海外の人々まで含めるとその価値観の振れ幅が大きいだけだ。ということです。

この価値観の振れ幅までは少し仕事をするとうちに気づくのですが、それでも失敗しがちなのが、価値観から生まれる「普通」とか「常識」というくせ者の概念です。誰かにプレゼン作成を依頼した時、または何かを買ってきて頼んだ時、「常識的にこんな説明しないでしょ！」とか、「普通これ選ぶ？」と言ったことないでしょうか。人は誰かに依頼するとき、いちいち1から10までは説明することは少なく、要点以外の部分は共通の価値観、つまり「普通」とか「常識」という概念により無意識に期待しているものです。しかも人の価値観は理解不能なほどに多様で、経験上、この期待が外れた時に問題が起きることが多いです。

この問題の解決方法は、1から10まで漏らさず意思疎通を図るという単純なものです。価値観は簡単に変わるものではないですし、独裁国家やワンマン企業でもない限りお互い相手の価値観に合わせる必要はないと思います。多様性が叫ばれる今の時代、価値観は極めて多岐にわたるはず。たとえ理解できなくとも、相手の言うこと(=価値観)は尊重し、自分も必要な主張はしたうえで、お互いが必要とする結果が得

られるまで認識を合わせていくのが最善であろうと思っています。1 から 10 までの説明と意思疎通には手間暇かかるので、時間や予算はあらかじめ備えておかねばなりませんし、すり合わせた結果、これはだめだと物別れに終わるときもあろうと思います。しかし拙速な説明や「普通」「常識」などの妄想から生じるやり直し作業コストや、信頼失墜などの損失よりはましであろうと思っています。

② 要求は最初にはっきり言う。

ここでいう「要求」とは、質問への回答だったり、伝えなければならないこと。「最初」とは、「理由→結論」でなく「結論→理由」の順でということ。「はっきり言う」とは、イエス・ノー、できる・できない、期限は〇日まで、のようなことです。先述の意思疎通の対策のひとつで、オマケみたいなものですが、自分ができてないことが多いので、戒めとして心しています。

はっきりとした物言いは時にドライな印象を与えることもありますが、少なくとも仕事においてはドライでも明確な方が結果として信頼に繋がるように思います。ただしはっきり言うためには、自分自身が明確に意見・結論を持つ必要があります、これには日頃から訓練が必要だだと思います。「ご飯何食べる？」と聞かれた時、「なんでもよい」ではだめです。なんでもよいわけではないです。白米は必須とか、麺類がよいとか、そういうところからの意識付けだなと思っています。

また日本人の説明は結論に至るまでに前置きが長くなることが多いです（もちろん海外にもそういう人は普通にいます）。日本語の文法的な習慣も影響あるかもしれません。たとえば安全靴を履いてほしい時、「作業現場では重い部品を扱っており、足の上に落下すると大ケガの可能性があるので、安全靴を履きなさい。」という程度の文章でも、部品は重いぞという話なのか、ケガに気をつける話なのか、安全靴を履けという話なのか、思っている以上に相手に伝わらないもの。また、いくら自分が完璧な文法の言語を使ったとしても、相手がそのように理解するとは限らないということにも注意です。人々が持つ言葉の意味の認識とはそのくらい曖昧で多様です。であれば、「なんで理解できないかなあ」ではなく、日本語であっても曖昧さをなくし要求はシンプルに「安全靴を履きなさい。なぜなら…」という語順を心がけるようにしています。

終盤になってから言い訳ですが、今回の話は企業間で仕事をするエンジニアを主眼においたものです。一般個人相手など他の職種では最良の結果とはならないこともあるとは思いますが。

最後にもう一度価値観の話に戻りますが、コロナ禍のアメリカではマスクをつけるつけないの揉め事から死者が出ました。日本では考えられないような話ですが、価値観の振れ幅とはそういうようなものだ



2021年1月末、イギリス中部ではめずらしく大雪でした。

と思っています。人は経験が増えてくると、積み上げた失敗体験や成功体験から、自分の中での標準や正義のようなものができてきたりするのですが、今回の私の話は人に押し付ける気はありません。逆に誰かに何かを押し付けられるのも嫌ですし（笑）。誰かの話や情報が他人の参考になれば良いことですが、あくまで自己責任で判断し体験していただければと思います。お互いを尊重しあい、人それぞれで面白いと感じながら生きていきたいと思う今日この頃です。

編集後記

編集委員

6M 太田哲也



この季節になるとキャンディーズの“もうすぐ春～ですね～♪”と口ずさんでしまいます。若い時の記憶は永遠ですね。いろんな人の名前がすぐに出てこなくなったのは仕方ないのでしょうか？気持ちはいつも若いつもりでいます。

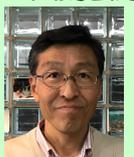
HP がリニューアルしましたので同級生と「オンライン同窓会」を企画しています。

7M 飯沼義徳



スマホのバッテリーが弱り頻繁に充電が必要になったため買い換えました。今回は思い切って 아이폰からアンドロイドに、しかも格安スマホにしたため設定にしっかり時間がかかりました。必死に作業して何とか終えた時には夜が明けていました。電話以外に、カメラ、時計、計算機、辞書、万歩計、手帳、地図、コンパス、ナビ、お財布、時刻表……。数え切れないほどの機能に、改めてスマホの凄さを思い知らされました。

8M 犬飼宏好



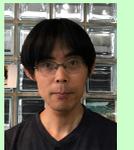
昨年も今頃から 5 月の総会準備を始めましたが、新型コロナウイルスの感染拡大で急遽 Web 総会となりました。しかし、役員間の認識の違いや準備不足から総会不成立となりました。今年も Web 総会になりますが、リニューアルしたホームページを活用した総会を開催することとなります。本文に記したスケジュールを進めてまいりますので、皆さんの参加を宜しくお願いします。なお、各クラス幹事からの連絡も予定しております。

15M 中尾賢治



コロナにかまけて OB 紹介シリーズの原稿取材で休みをもらってます。せっかく活躍中の諸先輩が多くいらっしゃるのですからアプローチ方法など工夫して、原稿いただけるようにトライしようと思います。

24M 山田 実



8年間、毎朝小学生の子ども達と登校班の集合場所まで数分間歩いて見送りをしてきました。学校や天気のこと、休みの日に何をやるかなどささいなことですがいろいろなことを歩きながら話しました。来年度から集合場所が家のすぐ近くに変わること一番下の子だけになるため話す機会が少なくなるのが少し寂しいです。



31M 堀口英樹



33M 伊藤友裕

海外特派員

発行日／2021年3月3日

責任者／中野廣幸

発行／岐阜工業高等専門学校機械工学科同窓会「機巢会」編集室
〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236番地2

TEL 058-320-1343

FAX 058-320-1349

<http://gifu-nct.com/>